

どの子どもも平等に 幼児教育・保育の無償化制度の対象にしてください

森のようちえんや認可外保育施設・幼稚園類似施設などの、認可幼稚園・保育園ではない、特色ある幼児教育・保育を行う団体が、国内の都道府県に数多く存在しています。しかし、2019年10月にスタートした幼児教育・保育の無償化制度では、それらの園は無償化対象外になり、また認可外保育施設の猶予措置として対象となったとしても「保育の必要性」が認められた家庭だけに限定されました。

保護者が大切にしていることは、今ある子どもたちの豊かな育ちの姿です。園の種別に関係なく、どの子どもも平等に保障され大切にされる権利があります。しかし、認可幼稚園・保育園ではない特色ある幼児教育・保育団体の子どもたちは、価値ある育ちがあるにもかかわらず、無償化の対象ではないという不平等な状態にあります。保護者には子どもにどのような幼児教育・保育を受けさせるか選択する権利があります。しかし、認可保育園の待機のためではなく特色ある教育・保育内容に共感してそれらの園を選んだ家庭は、同じ子育て世帯にも関わらず不平等な経済的負担を抱えています。これらの隔たりは、園の努力で回復できるものではなく、園の存続や、園と保護者の絆の障害になり、「保育の必要性」条件は同じ園の中で不平等を生じて、園を支える父母会活動を阻害しています。

現在、無償化の対象となっていない子どもが、対象の子どもたちと同じように保障されることを強く願います。さらに日本の幼児教育・保育の場がこれからも多様で選択肢のある豊かさを持ち、それぞれが共存在できることを望みます。

私たちは、一人ひとりの子どもが大切にされる社会を望み、**どの子どもも平等に幼児教育・保育の無償化制度の対象**となることを要求いたします。

東京都保護者代表 菅原陽子
北海道保護者代表 湯本明
岩手県保護者代表 高浜菜奈子
宮城県保護者代表 山谷真子
福島県保護者代表 佐藤いつ香
茨城県保護者代表 阿部法子
栃木県保護者代表 横山渚
群馬県保護者代表 今野稚香子
埼玉県保護者代表 渡邊洋子
千葉県保護者代表 藤井美津子
神奈川県保護者代表 原田順一
山梨県保護者代表 大久保洋美
長野県保護者代表 小幡雪絵
新潟県保護者代表 伊藤唯
富山県保護者代表 守屋謙
岐阜県保護者代表 久保玲奈
静岡県保護者代表 佐藤めぐみ
愛知県保護者代表 山下翠
滋賀県保護者代表 立石汐保
京都府保護者代表 山本晃代
大阪府保護者代表 大屋智浩

兵庫県保護者代表 羽根寛子
奈良県保護者代表 村田飛花
和歌山県保護者代表 佐道大倫
岡山県保護者代表 妹尾真希
広島県保護者代表 福土愛
山口県保護者代表 棕原香織
徳島県保護者代表 児島久美子
香川県保護者代表 請川宏子
福岡県保護者代表 南麻澄
熊本県保護者代表 足立あける
鹿児島県保護者代表 上野ロサリン

支援団体
NPO 法人森のようちえん全国ネットワーク連盟
理事長 内田幸一